

ルネサンス、人間の発見



学習の目標

- 知** ルネサンスの美術について理解しよう。
- 思** ルネサンス美術の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めよう。
- 学** ルネサンスの美術に興味をもち、主体的に鑑賞しよう。

中世の美術表現では、神の威厳や神聖さが重視されてきました。しかし、15世紀末頃からの自然科学の発達などによって、人々は人間の可能性に目覚めました。この時代を「再生」や「復興」を意味するルネサンスと呼びます。

理想としたのは古代のギリシャ・ローマ時代の自然と人間のとらえ方です。その時代の、生き生きと表されている神々や人々の姿に影響を受け、写実的で個性的な絵画や彫刻が生み出されました。

美術の用語

- テンペラ** 粉末にした顔料に卵黄を混ぜた絵の具で描く技法。
- フレスコ** 壁に直接絵を描く技法の一つで、生乾きの壁に顔料を水で溶いて描く技法。
- モザイク** さまざまな色彩の石やガラス、焼き物などのかけらを並べて図柄を描く技法。



■ 古典に^{もど}戻る

ルネサンス期の人々は、ギリシャやローマ時代の文化や美術を理想としました。ギリシャやローマ時代に生まれた自然な調和や理想美をもとに、人物の個性や感情を表すことを目指したのです。

⑥ コンモドゥス

帝 [大理石／

高さ69.9cm]

180～5年

J・ポール・ゲ

ティ美術館蔵

[アメリカ]

⑦ ブルータス

[大理石／

高さ96cm]

1538～40年^{ごろ}

ミケランジェロ・ブ

オナローティ

国立バルジェッロ美

術館蔵 [イタリア]

表現のしかたにおいて^{えいきょう}影響を受けるだけではなく、主題もそれまでのキリスト教の世界を表したものに^{あつが}加え、ギリシャ時代やローマ時代の世界も扱うようになる。ギリシャ時代の^{てつがくしゃ}哲学者やローマ時代の政治家などの^{ちやうこく}絵や彫刻が^{あつが}つくられた。

⑧ アテネの学堂 [フレスコ／

^{よこはば}横幅770cm] 1509～10年^{ごろ}

ラファエロ・サンティ

バチカン^{きやうでん}宮殿署名の間 [バチカン]

ギリシャ時代を代表する^{てつがくしゃ}哲学者の姿

が^{とうし}透視^{ずほう}図法を用いて^{えが}描かれている。

空白ページ